

事務事業名	道路安全対策費										担当課	部課名	道路河川部道路維持課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	張ヶ谷 昌彦	電話	4441

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	義務的自治事務										
事業概要	交通事故を防止し、安全で円滑な道路交通を確保するため、道路パトロール、通学路合同点検や市民要望等に基づき、道路反射鏡や道路区画線標示などの既存安全施設を維持管理するとともに、滋賀県大津市の交通事故をきっかけに安全対策が必要な交差点への車止め等の道路安全施設を整備する。																
事業目的及び必要性	交通事故を防止し、安全で円滑な道路交通を確保する。																
対象	1. 個人	市民														438,968	人
根拠法令等	法律等	道路法															
藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)																	
まちづくりコンセプト								重点施策名									
<input checked="" type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由) 本市の総合的な暮らしやすさを高めるための取組の一つとして、道路の交通安全対策を行い、さらに住んでみたい、住み続けたいと思える藤沢を築く。								防犯・交通安全対策の充実									
								指針体系コード									
								1-2-51									
2030年又は事業終了時の望ましい姿								その他の計画との関連									
市民、警察、行政が一体となり、交通事故のない安全で安心なまちづくりが進められている。																	
								貢献する主なSDGsのゴール									
								3 すべての人に健康と福祉を									
								11 住み続けられるまちづくりを									
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」																	
市民意識調査における質問項目				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
犯罪のない安全なまちであると感じますか				3.24 点	3.23 点	3.3 点	3.28 点										
				点	点	点	点										

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	需用費	11,680 千円	道路安全施設の修繕
	役務費	1,277 千円	道路反射鏡周辺枝払い等
	委託料	12,435 千円	道路反射鏡清掃及び管理業務委託
83,484 千円	工事請負費	58,092 千円	道路区画線標示補修等工事・道路安全施設設置工事・車止め設置工事
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	需用費	12,480 千円	道路安全施設の修繕
	役務費	500 千円	道路反射鏡周辺枝払い等
	委託料	12,392 千円	道路反射鏡清掃及び管理業務委託
118,360 千円	工事請負費	92,988 千円	道路区画線標示補修等工事・道路安全施設設置工事・車止め設置工事

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	-	-	1.00人工	0.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	-	-	0.00人工	0.00人工
非常勤職員	-	-		
合計	0.00人工	0.00人工	1.00人工	0.60人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			0.00人	0.00人
---------------	--	--	-------	-------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	交通事故の防止及び安全な道路環境を提供するなどの安全対策を図るため、安全施設の劣化や破損の補修等を行った。また、滋賀県大津市の交通事故をきっかけに緊急点検を行い対策を実施後、さらに対策を要する182交差点のうち、未就学児安全合同点検等の結果を踏まえて、藤沢駅南部及び湘南大庭地区の17交差点に車止めを設置し、安全対策を実施した。						
	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
成果目標	参考 安全施設の劣化や破損の補修など、道路の安全確保を目的としているため。						
	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
活動実績	車止め設置工事	交差点	-	-	-	17	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
成果実績	数値で表せない効果 道路パトロールや市民要望等に基づく既存安全施設の維持管理を行ったことにより、交通事故を防止し安全で円滑な道路交通の確保が図られた。						
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト	行政費用(フルコスト) A	86,975	127,978	91,056	87,558			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	87,083	126,459	92,570	88,764			
	事業費(支出済額)	77,447	111,880	83,175	83,484			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,636	14,579	9,395	5,280			
	①常時勤務職員等の給与等	9,167	13,712	8,854	5,029			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	469	867	541	251			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-108	1,519	-1,514	-1,206			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-108	1,519	-1,514	-1,206			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
	行政収益(事業収入) B	0	0	0	18,330			
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	18,330				
①分担金及び負担金 c				0				
②使用料及び手数料 d				0				
③国庫支出金				0				
④県支出金				0				
⑤その他(地方債、基金)				18,330				
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0				
収入未済増減額				0				
収支差額(純費用) A-B E	86,975	127,978	91,056	69,228				
分析指標	項目	単位	単位	単位	単位			
	F				箇所			
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	-	-	-	-			
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	202.59	429,317	295.52	433,060	209.27	435,121	157.71
受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00		0.00		0.00		0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	道路反射鏡については、要望が多く対応に時間を要している。また、令和元年5月に発生した滋賀県大津市において未就学児の移動経路で発生した交通事故を受け、未就学施設等や人通りが集中する交差点に対し緊急的に車止め等の設置を行い歩行者の安全確保を行ったが、近年保育園の開設が多くあることで、安全対策の必要な交差点が増えている。
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	道路反射鏡等の安全対策については、バトロールや要望を踏まえながら実施した。また、車止めや路面標示などの安全施設の対応については、安全対策が必要な交差点に対策を講じたが、保育園及び幼稚園などの未就学児に対しても更なる対策が急務となっており、未就学児を含む交差点利用者の安全対策として車止め等を設置した。
(3) 令和3年度末時点の課題	道路反射鏡については、要望が多く対応に時間を要している。また、車止め等の設置については順次整備を行い歩行者の安全確保を行ったが、まだ市内に多くの安全対策の必要な交差点が残っている。
(4) (3)解決のための今後の取組	道路反射鏡や路面標示等の安全施設については、バトロールや要望を踏まえながら順次実施していく。また、車止め設置については、残りの計画交差点(165交差点)を令和4年度から3ヶ年で完了するよう対策を計画的に進めるとともに、保育部門で指定するキッズゾーンについて連携し取り組みを進める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	○	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの	
		○	エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	○	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	○	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	○	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	○	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	○	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 施設等維持管理	なし

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	他市で発生した交通事故を受け、市内での道路反射鏡の設置や路面標示・防護柵等の安全対策に対する要望は増加傾向にある。	
他市等の事例	他市においても、滋賀県大津市の事故を受け、国土交通省から令和元年6月に「未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保について」の通知が発出されたことを受け、保育所等の施設、各道路管理者、警察等の関係機関が連携して緊急安全点検を行うとともに、対策の必要な個所について車止め等の設置を行っている。	
市民ニーズ	把握方法	通学路合同点検 年1回開催 電話・メール・窓口・LINE等による市民要望受付
	把握内容	路面標示が薄いため補修してほしい。 道路反射鏡や防護柵を設置してほしい。
	対応等	路面標示の補修については、可能な限り実施する必要がある。 道路反射鏡や防護柵の設置については、必ずしも設置することが安全対策につながるわけではないため、現場に応じた必要性を検討し、判断する。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	道路反射鏡の設置や清掃、道路区画線等を適正に維持管理することにより、円滑な通行が図られ、市民の安全性が確保された。また、未就学施設周辺や人通りが集中する交差点については、車止め等の設置により、交差点の安全確保が図られた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	① 安全で安心な暮らしを築く
	事業の方向性	現状維持
	設置要望が多い道路反射鏡については、要望に添えない場合が多いので、その役割やデメリットを地域の方々へ説明しながら理解を得ていく。また、道路区画線表示については日々摩耗していくものであり、安全対策施設が有効に機能するように維持・補修・改善を実施していく。車止め設置については、未就学児の移動における危険な交差点に対して、令和3年度から継続して車止めや防護柵等の設置による未就学児を含む交差点利用者の安全対策を計画的に進めていくとともに、保育部門で指定するキッズゾーンについて連携し取り組みを進める。	

9. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------